

## 氷床変動の再現で女性研究者の賞を受賞

阿部 彩子氏

フォーカス



自然科学で優れた業績をあげた女性研究者に贈られる2012年度の「猿橋賞」を受賞した。氷床が12万年かけてゆっくりと拡大し、急速に溶けて小さくなる様子をコンピュータ上で再現した。「成功したときはうれしくて小躍りした」東大准教授として氷床の変動を研究する傍ら、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の報告書の執筆者の一人でもある。大昔の気候変動を知ることで「生物の進化の解明にもつながり、ワクワクする」と話す。

「数学好きな少女」が

## 研究・家庭の両立あきらめず

地球に興味を持ったのは中学2年生のとき。「新しい地球観」という本を読み、過去の地球は今の姿ではないという事実に驚き、科学者同士が協力して取り組む研究にひかれた。

東京大学理学部の地理教室に進んだが、性に合わず、新聞記者を目指して就職活動した時期もある。その中で自分を見つめ直し、東大地球物理学科に学士入学し直した。

海外では同じ分野で女性研究者が活躍している。気候変動の研究は様々な分野の考え方をバランスよく取り入れる必要がある。「他人に教える請いやすい女性には向いている」というのが持論。

東大准教授の夫は筋肉が動かなくなる難病「ALS(筋萎縮性側索硬化症)」を発症し、車いす生活をおくる。1男2女がおり、育児・家事、夫の介護、研究で多忙だが、親や周囲とで支え合っている。研究者を目指す女性の後輩にも「あきらめないことが大切」とエールを送る。

|| あべ・あやこ、49歳